

ロシア工業団地セミナー in 京都
「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために
～生産の現地化と産業協力」のご案内

平成29年2月21日
(一社)ロシアNIS貿易会

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、(一社)ロシアNIS貿易会は、ロシアの工業団地関係者を日本に招へいし、3月14日(水)、メルパルク京都にてロシア工業団地セミナーin京都「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために～生産の現地化と産業協力」を開催いたします。

2015年以来ロシア経済は2年続けてマイナス成長を強いられていましたが、2017年には低率ながらプラス基調に反転しました。3月18日の大統領選を挟み、今後の成長戦略をめぐる国内の議論も高まっています。

ロシア工業団地協会はロシアの主要な公営・民営の工業団地や経済特区、地方開発公社、建設・エンジニアリング企業、コンサルティング会社等を会員としており、日本との協力構築にもたいへん熱心で、2013年以来、毎年各地で同様のセミナーを開催しています。

今回のセミナーでは、ロシアの全国・主要地方レベルにおける工業団地の整備と企業誘致支援に関する最新の動きをご紹介するほか、日ロ経済関係の現状、ロシアにおける日本企業の事業拡大の諸条件等についての報告が予定されています。

ご参加を希望される方は、添付のプログラムをご覧ください、「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**3月9日(金)**までに、一般社団法人ロシアNIS貿易会宛にFAX(03-3555-1052)もしくはEメール(webmaster@rotobo.or.jp)にてお申込み下さい。なお、お席数には限りがございますので、満席に成り次第申込みは打切らせて頂きますので、ご了承下さい。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

敬具

記

- ◆日 時: 平成30年3月14日(水) 09:00～12:30
- ◆会 場: メルパルク京都 会議室6
京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13
TEL: 075-352-7444(代)
<https://www.mielparque.jp/kyoto/access/>
- ◆主 催: (一社)ロシアNIS貿易会 <http://www.rotobo.or.jp/>
ロシア工業団地協会
- ◆協 力: 京都府、ジェトロ京都、京都商工会議所、京都産業21、京都工業会
- ◆参 加 費: 無料
- ◆プログラム: 添付をご参照ください。
- ◆参加人数: 60名(予定)
- ◆使用言語: 日本語、ロシア語(逐語通訳)
- ◆連絡先: 一般社団法人ロシアNIS貿易会
担当: 中居、橋之爪
TEL: 03-3551-6218 FAX: 03-3555-1052
Email: webmaster@rotobo.or.jp

ロシア工業団地セミナー in 京都
「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために
～生産の現地化と産業協力」
プログラム(予定)

2018年3月14日(水)
 於:メルパルク京都 会議室6

平成 30 年2月 19 日現在

時間	プログラム
09:00 - 09:05	司会および開会の辞 ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所 調査部長 中居孝文
09:05 - 09:15	報告① 露日経済協力における優先分野と進捗状況 在日ロシア連邦通商代表部 首席代表 セルゲイ・エゴロフ
09:15 - 09:25	報告② ロシア政府の産業政策と外国企業の現地生産を支援する諸施策 ロシア工業団地協会 共同会長 マクシム・パズニコフ
09:25 - 09:45	報告③ ロシアにおける日本企業の事業拡大の諸条件と見通し ロシア工業団地協会 日本・アジア太平洋地区担当顧問 大橋 巖
09:45 - 10:05	報告④ ロシアにおけるビジネスの構築と法的側面 ノエール・コンサルティング パートナー兼モスクワ事務所長 シュテファン・ヴェーバー
10:05-10:25	報告⑤ ロシアにおけるビジネス拡大のための輸送・物流インフラの重要性 MLP 副社長 グレブ・ベラヴィン
10:25 - 10:40	コーヒーブレイク
10:40 - 11:00	報告⑥ ロシアにおける工場・倉庫建設の実際 PNK グループ 工業プロジェクト部長 カリン・アントン
11:00 - 11:20	報告⑦ ロシア市場への効果的な参入を可能にする生産の現地化 スタヴロポリ地方開発公社 社長 ザウル・アブドゥラヒモフ
11:20 - 11:40	報告⑧ ロシアにおける現地生産、産業協力、現地サプライヤーの活用 テクノポリス「ヒムグラード」(露) 社長 アイラト・ギツザトゥリン
11:40 - 12:30	質疑応答 名刺交換 閉会の挨拶(ロシア工業団地協会)

訪日機関の概要(予定)

平成 30 年 2 月 19 日現在

	組織・会社名	組織概要	URL
1	ロシア工業団地協会 	2010年に設立されたロシアにおける工業団地の発展促進を目的とした団体。現在、工業団地の運営機関・会社を中心に128社・機関が同協会の会員となっており、同協会の会員の傘下にある工業団地は全国46地域の89カ所に及ぶ。 ロシアの工業団地への日本企業の誘致にたいへん熱心で、2013年から毎年日本各地(東京、名古屋、大阪、京都)でセミナーを開催している。ロシアNIS貿易会(ROTOBO)とは2016年2月に協力覚書を締結。	http://www.indparks.ru/en/
2	ノエール・コンサルティング 	ドイツに本部を置く法律事務所で、500人以上の弁護士、税理士、会計士を抱える。ロシアでは25年以上の活動実績を有し、ロシアではDaimler、Continental、Claasなどの工場建設の際に法務・税務サービスを提供。	https://www.noerr.com/en/International/Moskau.aspx
3	PNKグループ 	ロシアの倉庫・工業用地のデベロッパーであり、モスクワ近郊だけで、倉庫を備えた8つの工業団地を運営している。ロシア、欧州、米国を含めると、建設中のものを含めて26の工業団地を所有している。	https://www.pnkgroup.ru/en/
4	MLP 	ロシアにおける倉庫業界のリーダー的存在。ロシア内外で8つのロジスティクスセンターを経営し、うち6つがモスクワ近郊に位置する。日本企業では、近鉄エクスプレスがMLP傘下のニコリスコエ・ロジスティクスパークを利用している。	http://mlprussia.com/en/
5	スタヴロポリ地方開発公社 	ロシア南部スタヴロポリ地方の地方政府の肝いりで創設された投資誘致・支援機関。同公社では、スタヴロポリ地方内で9つの工業団地を運営している。スタヴロポリ地方はロシア有数の農業地帯であり、同公社傘下の工業団地の入居者にも農業関連の企業が多い。	http://www.razvitie-stav.ru/eng/
6	テクノポリス「ヒムグラード」 	タタルスタン共和国カザン市において2006年に開業した工業団地。現時点の入居企業は260社で、業種としては化学、ナノテク、医療産業、自動車部品等に從事する中小企業が多い。 同工業団地が所在するタタルスタン共和国は、2017年10月に東京で「日本タタルスタン・ビジネスフォーラム」を開催するなど、日本へ積極的なアプローチを図っている。	http://www.himgrad.ru/

7	<p>サマラ州工業団地</p> 	<p>ロシア最大の自動車製造拠点トリアッチを有するヴォルガ地域サマール州の州政府が設立した特殊会社で、州内に2か所の工業団地を造成・管理するほか、工業団地への企業誘致、立地企業への建設、法務、警備、人材確保、通信・ITなどのサポートを一括して行う。域内には現在、ボッシュ(独)、クナウフ(独)など6社が立地している。</p>	<p>http://i-parks.ru/</p>
8	<p>ストゥピノ1工業団地</p> 	<p>2014年に開設された、外国企業も多く立地するモスクワ州南部の工業都市ストゥピノ(モスクワ市から80キロ)に所在する民営工業団地。中堅・中小企業の対露進出の受け皿として、工場用地だけでなく貸工場、貸オフィス・会議室などの提供も可能で、ロシア工業規格やその他の適合証明の取得、法人登記、会計・経理、人材確保、労働許可証の取得、貨物の通関、保険、通訳の手配など事業立ち上げのあらゆる課題を一元的に支援する。</p>	<p>http://industrialpark.org/</p>

締切: **2018年3月9日(金)(必着)**

送付先: FAX: 03-3555-1052 または E-mail: webmaster@rotobo.or.jp

一般社団法人ロシアNIS貿易会宛 担当: 中居、橋之爪

ロシア工業団地協会セミナー in 京都 「ロシアにおける日本企業の事業拡大のために ～生産の現地化と産業協力」 参加申込書

平成30年3月14日(水) 09:00～12:30

於:メルパルク京都 会議室6 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13

(1)申込者氏名		英文表記	
(2)勤務先名称			
英文表記			
(3)所属部署			
英文表記			
(4)役職		英文表記	
(5)勤務先住所	〒		
(6)勤務先TEL		(7)勤務先FAX	
(8)E-mail			

